学校番号	2002

令和８年度　数学科

教科	数学	科目	数学Ⅰ	単位数	３単位	年次	１年次
使用教科書	新編　数学Ⅰ　（数研出版）						
副教材等	**新課程　3ROUND　数学Ⅱ（数研出版）**						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

数学は公式を覚えるだけでなく、本質を理解し考え方を学ぶことが大切です。授業では課題に対して自ら考える活動を中心に行います。そして様々な考え方に触れ、より良い解決の過程を深めましょう。次に数学では多くの問題を解くことが重要です。問題集と問題集用のノートを用意し、たくさんの問題を解いてください。ただ答えを求めるだけでなく、大切なことは途中式や考え方も書くことです。また各自答え合わせとやり直しをきちんとしてください。自分がどこでつまずいたかを知るためにやり直しをすることが何よりも大切です。単なる答え合わせだけの採点にならないよう注意してください。答え合わせをしたらもう一度その問題にチャレンジし、何も見ずに自分の力だけで解けるようになるまで何度も繰り返しチャレンジしてください。家庭学習における課題は定期的に提出してもらいます。毎授業後に復習としてコツコツと取り組みましょう。提出物は担当の先生の指示に従って提出しましょう。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
数と式、図形と計量、二次関数およびデータの分析についての基礎的な知識や技能を習得する。
【思考力、判断力、表現力等】
様々な事象を数学的に考察する能力を培い、数学のよさを認識できるようにする。
【学びに向かう力、人間性等】
数学を問題の解決に活用する態度を身につける。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	数と式，図形と計量，2 次関数及びデータの分析についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに，事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付けている。	数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりする力，図形の構成要素間の関係に着目し，図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力，関数関係に着目し，事象を的確に表現してその特徴を表，式，グラフを相互に関連付けて考察する力，社会の事象などから設定した問題について，データの散らばりや変量間の関係などに着目し，適切な手法を選択して分析を行い，問題を解決したり，解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりする力を養っている。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度，粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養っている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
１学期	第１章　数と式	第１節　式の計算 １ 整式の加法と減法 ２ 整式の乗法 ３ 因数分解	a：乗法公式、因数分解の公式の 意味や複雑な式が簡単に帰着できることを理解するとともに、式を目的に応じて変形することができる。 b：学習した計算方法と関連付けて、式を多面的に考察することができる。 c:授業内容に興味を持ち、意欲を持って演習や課題に取り組むことができる。	定期考査 確認テスト 提出ノート	定期考査 確認テスト 提出ノート	観察 提出ノート
		第２節　実数 １ 実数 ２ 根号を含む式の計算	a：数を実数まで拡張することの意義や実数が数直線上の点と１対１に対応していることを理解するとともに、簡単な無理数の計算ができる。 b：身近にある無理数の値や比に用いられる無理数の性質や特徴について考察することができる。 c：授業内容に興味を持ち、意欲を持って演習や課題に取り組むことができる。	定期考査 確認テスト 提出ノート	定期考査 確認テスト 提出ノート	観察 提出ノート

		第３節　１次不等式 １　不等式の性質 ２　１次不等式 ３　絶対値を含む方程式･不等式	a：１次不等式の解を求めることができる。 b：不等式の理解を深め，式を多面的に捉えて問題を考察することができる。 c：日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、１次不等式を問題解決に活用しようとしている。	定期考査 確認テスト 提出ノート パフォーマンス課題	定期考査 確認テスト 提出ノート パフォーマンス課題	観察 提出ノート パフォーマンス課題
２学期	第３章　２次関数	第１節　２次関数とグラフ １　関数とグラフ ２　２次関数のグラフ	a：２次関数の特徴について理解しており、２次関数のグラフを描くことができる。 b：２次関数の式とグラフについて、多面的に考察することができる。 c：２次関数とそのグラフの性質や特徴について関心をもち、それらを２次関数の考察に活用しようとしている。	定期考査 確認テスト 提出ノート	定期考査 確認テスト 提出ノート	観察 提出ノート
		第２節　２次関数と値の変化 １　２次関数の最大・最小 ２　２次関数の決定	a：２次関数の値の変化やグラフの特徴について理解しており、２次関数の式を決定し、グラフを描くことができる。 b：２次関数の式とグラフについて、値の変化に着目しながら多面的に考察することができる。 c：日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、２次関数を問題解決に活用しようとしている。	定期考査 確認テスト 提出ノート	定期考査 確認テスト 提出ノート	観察 提出ノート

		第３節　２次方程式と２次不等式 １　２次方程式 ２　２次関数のグラフと x 軸の共有点 ３　２次不等式	a：２次関数のグラフと関数の値の変化における基本的な概念を理解し、最大値や最小値、２次方程式・２次不等式の解を求めることができる。 b：日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、問題を解決、考察することができる。 c：２次関数とそのグラフを用いることの有用性を認識し、値の変化や２次方程式・２次不等式の考察に活用しようとしている。	定期考査 確認テスト 提出ノート パフォーマンス課題	定期考査 確認テスト 提出ノート パフォーマンス課題	観察 提出ノート パフォーマンス課題
	第４章　図形と計量	第１節　三角比 １　三角比 ２　三角比の相互関係 ３　三角比の拡張	a：鋭角の三角比の意味と相互関係を理解し、他の三角比の値や鈍角の三角比の値を求めることができる。 b：図形の構成要素間の関係を、三角比を用いて表現するとともに、三角比の性質や相互関係を考察することができる。 c：三角比を用いて直接測ることのできない長さや角度が求められることに関心をもち、事象の考察に活用しようとしている。	定期考査 確認テスト 提出ノート	定期考査 確認テスト 提出ノート	観察 提出ノート

3学期		第２節　三角形への応用 1　正弦定理 2　余弦定理 3　正弦定理と余弦定理の応用 4　三角形の面積 5　空間図形への応用	a：正弦定理、余弦定理を理解し、それを用いて平面図形や空間図形の計量をすることができる。 b：図形の構成要素間の関係に着目し、日常の事象や社会の事象を数学的に捉え、問題を解決、考察することができる。 c：正弦定理や余弦定理の有用性を認識し、平面図形や空間図形の計量に活用しようとしている。	定期考査 確認テスト 提出ノート パフォーマンス課題	定期考査 確認テスト 提出ノート パフォーマンス課題	観察 提出ノート パフォーマンス課題
	第5章　データの分析	1　データの整理 2　データの代表値 3　データの散らばりと四分位数 4　分散と標準偏差 5　データの相関	a：データの分析における基本的な概念、原理・法則などを理解し、分散及び標準偏差などの知識や散布図を描く、相関係数を求めるなどの技能を身に付けており、それらの意味を理解している。 b：データの分析における基本的な概念、原理・法則や散布図や相関係数などを用いてデータの傾向を捉え、それらを的確に表現することができる。 c：分散及び標準偏差や散布図や相関係数などを用いてデータの傾向や相関を把握し、事象の考察に活用しようとしている。	定期考査 確認テスト 提出ノート パフォーマンス課題	定期考査 確認テスト 提出ノート パフォーマンス課題	観察 提出ノート パフォーマンス課題

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度